

第2回 阿賀野市総合計画審議会 議事概要

1 会議の概要

日 時：令和6年12月13日（金）午後1:30～4:10

場 所：阿賀野市役所 別館3階 302会議室

出席者：【委員】

阿部委員、荒木委員、石黒委員、遠藤委員、坂詰委員、佐々木委員、
横山委員

【市】

保科総務部長、吉川民生部長、阿部産業建設部長

事務局：企画財政課（西潟課長、長峰課長補佐、佐々木係長、山崎主事）

2 議事

- （1）次期総合計画の序論、基本構想、基本計画について
- （2）時期総合計画における成果指標の目標値(案)について

3 発言の内容（主な意見等（○：委員、●：市））

- （1）次期総合計画の序論、基本構想、基本計画について

○人口減少が大きな課題になっていることがよくわかる内容だった。今年のニュースで消滅可能性都市として阿賀野市や、意外なところで村上市や五泉市も入っていたかと思う。この資料から、人口は減少しているが世帯数は増加しているとのことだったが、市としてはどういった見解か。

●人口の減少については、出生数と死亡数、転入者と転出者の差異がマイナスになっていることが、人口減少の一つの要素と捉えている。世帯数の増加については、昔のような大家族が減り、単身や夫婦二人の世帯が増えていること、実家の敷地内に子供世帯が別に家を建てることが増えるなど、家族形態の在り方に変化があり、世帯員の減少と世帯数の増加に繋がっていると考えられる。

○阿賀野市として、どういったことをこの計画を通して押し出していくのかが、少し見えないように感じた。資料の中でも、市民が重要と捉えている事項の満足度が上がっていないと捉えられるが、市民ニーズに対してどう取り組んでいくのかがあっていいのではないか。また、基本構想に、「自然環境、歴史環境、地政学的条件」とあったが、何かもっとも重要と位置付けるなどの順位はあるのか。

●市の政策全分野を網羅するというコンセプトを基に、漏れのないよう計画に記載している。もちろんここに記載のあることを全て同じ力量で取り組めればいいが、予算が限られている中でどこに重点を置くのか、どこに力を入れるのかというのは、この後の資料で説明をさせていただければと思う。

基本構想の「自然環境、歴史環境、地政学的条件」の順位付けについては、全てが並列と考えている。

- 阿賀野市に限らず、全国的に出生率が下がっており、2024 現在の合計特殊出生率は 1.15 だったかと思う。この資料だと 2040 年には 2.08 程度に改善するとある。かなりポジティブな基準と思うが、なにか根拠等はあるのか。
- 明確な根拠や達成できる目算があることはないが、国が 2040 年には 2.08 程度まで数字を上げていくことを目標としていることから、当市としてもそれに倣い数値を設定した。その目標にできるだけ近づけるよう、ここに住みたいと思っていただけるような市を目指していきたいと考えている。
- 明確な根拠等があるわけではないが、実施計画等で 2.08 に近づけるよう施策を実施していくという、ある種の意気込みのようなものと捉えればいいか。
- そのとおりである。

(2) 次期総合計画における成果指標の目標値(案)について

目標値設定水準の考え方

質疑等なし

分野別政策 1 安心な暮らしの確保と向上

- 基本事業が薄いように感じる。施策 1-2 地域医療体制の充実が阿賀野市においても大きな問題になっているものだけに、もう少し基本事業等を細分化してもいいのではないかと。他の施策はもう少し細分化されており、基本事業が多いだけに気がなった。
- 阿賀野市の地域医療の望ましい姿を基本事業名として掲載している。その望ましい姿を実現するために必要な、例えば産婦人科の確保等のより具体的な施策は、この総合計画に紐づく下位の計画に設けて取り組むとしている。本日お配りしている資料にはないが、毎年実施計画を作成し予算を付け、事業を実施している。

分野別政策 2 子どもと子育て世代への支援

- 保護者負担の軽減とあるが、具体的にどういったことに取り組む予定なのか。新しく子供を持たない理由に経済的な不安があるといった声がよく聞かれる。
 - 子どものための助成として、保育費・副食費・児童クラブ負担金・病児保育負担金・子ども医療費・ひとり親家庭等医療費などを実施している。
- 結婚意識の向上について、結婚に対する意識の多様化もあるので「結婚はすべき」と押し付けるようにならないよう配慮してほしい。場合によっては、誤った発信となる恐れがある。
- 学校教育の充実における ICT の効果的な活用の指標について、これは有効的に活用できている割合を 80%に引き上げるといった認識で良いか。GIGA スクール等もあって端末の普及率はかなり高いはずなので、それだと数字が違ってしまう。
 - ご推察のとおり、端末自体は生徒に 100%普及している。授業の内容によっては、従来のやり方が適しているものもあり、現状なかなか使われていないこともある。より一層、学習に効果的な方法で活用していただきたいので、このような数値目標としている。

- 指導者の年齢や資質によって、若干活用の仕方に差が出る。ICT は手段であって目的ではないので、なかなか 100%とはならないかもしれない。
- この数値は児童・生徒へのアンケートで数値をとっているものかと思うが、確かにそれだと 100%は難しい。教科によっては、あまり ICT がなじまない授業もあるかと思うが、効果的に活用できるように努めてほしい。

分野別政策 3 高齢者・障がい者福祉の充実

質疑なし

分野別政策 4 地域経済の活性化と拡充

質疑なし

分野別政策 5 生活に密着した住みやすい環境づくり

- 施策 5-1 の都市機能の維持というのは、コンパクトシティを推進するといったことか。都市拠点と地域拠点とあるが、ターゲットとする地区は決まっているのか。
- ご推察のとおり、コンパクトシティの推進を目標として設定した指標である。これは立地適正化計画という計画を別途策定しており、そこで都市拠点と地域拠点を定めている。都市拠点は水原地区の中心地を、地域拠点は水原地区の都市拠点の周辺と安田地区の中心地を設定している。この計画も定期的に見直しをかけることになっており、今後の居住の動向を見ながら拠点の位置や大きさを変更することもある。
- 阿賀野市の学校では、唯一京ヶ瀬小学校の生徒数が増加している。なぜ京ヶ瀬地区で子供の数が増加しているのかを分析し、そういったところにも設定できるよう検討してほしい。
- 施策 5-5 污水处理の下水道の普及率を指標としているが、古いところでは布設して 40 年を経過している箇所もあり、今後管の耐震化や布設替えが必要になってくる。今後の整備構想や計画はあるのか。
- 現時点では、普及させるための工事と老朽化対策工事の二つが課題になっている。これについては下水道担当でも承知しており、下水道事業計画において、今後の整備方針を定めて事業に取り組んでいる。
- 管理不全空き家と特定空き家は同じなのか。それだとかなりの軒数になる。管理不全空き家の中に特定空き家が包含されているという考えになるか。
- ご推察のとおり。定期的に管理がなされていない空き家が管理不全空き家で、その中で特に危険な空き家を法律の定めによって指定したものが、特定空き家になる。

分野別政策 6 多様性の尊重と市民協働の推進

質疑なし

総合的政策 市役所機能の整備・強化と信頼される行政運営

○公共施設のマネジメントの推進とあるが、公共施設を今後どうしていくイメージで考えているか。減らす方向なのか増やす方向なのか。

●減らす方向で考えている。公共施設等総合管理計画という計画のなかでも、30年間で施設面積を20%削減することを目標としており、人口の減少に合わせて公共施設も再編していく方針である。

○廃止していく施設の目途や順位の整理はしているのか。

●ある程度期間を区切った上で箇所付けをしており、この期間にどの施設の再編に取り組むといったようなものは定めている。

○京ヶ瀬地区の体育館やプールを取り壊すといった話があると思う。プールについてだが火災などの有事の際にその水を使うといったようなことはあるのか。地域における防火水槽の補助的な役割をプールが担っているといったイメージを持っていた。既存の防火水槽で対応が可能なのか気になっている。

●現在の計画では、京ヶ瀬体育館を取り壊し、中学校のグラウンドを整備するとともに、プールも取り壊しをする方向で、議会からも承認をいただいている。プールを火災等の有事の際に活用するといった計画はないように思う。消火栓等の整備なども行われおり、必要に応じて備えたいと考えている。

(その他)

○阿賀野バイパスの供用開始時期はいつくらいを予定しているのか。

●国の事業なので具体的に申し上げることはできないが、令和7年中と聞いている。

○新潟県から宿泊税の導入について少し話があったと聞いたが、阿賀野市としては何かそういったことを検討しているか。

●新たな税については検討していない。新たな税の導入には総務省の許可が必要になり、かなりハードルが高いと認識している。ただ、ある程度市としても収入がなければ、環境に対する策を講じることもできないので、今後必要になれば、各方面に適宜情報共有をしながら進めていきたいと考えている。